

作成日: 2012年7月12日

改訂日(V.2): 2013年2月4日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: ジベレリン協和粉末
会社名: 日本農薬株式会社
住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目 19番 8号 京橋OMビル
担当部門: 環境安全部
TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451
e-mail: kankyuanzen@nichino.co.jp
緊急連絡電話番号:(平日) 03-6361-1426 (環境安全部)
(休日、夜間) 04-2929-8961 (A L S O K)
用途及び使用上の制限: 農薬(植物成長調整剤)、農薬登録以外の使用は不可
MSDS番号: 512-30(M12-21)

2. 危険有害性の要約

GHS分類: 該当しない。
GHS分類に該当しない他の有害危険性: 該当しない。

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物
有効成分化学名(一般名): ジベレリンA₃; 2,4a,7-トリヒドロキシ-1-メチル-8-メチレンジベ-3-エン-1,10-ジカルボン酸1,4a→ラクトン
(一般名 ジベレリン (gibberellin))

成分及び含有量:

成分	含有量	化審法 No.	安衛法 No.	CAS No.
ジベレリン	3.1%	4-785, 9-2556		77-06-5
湿展剤	3.1%			
保存剤	極微量	3 - 1585		94-26-8
増量剤(乳糖)で100%とする				10039-26-6

4. 応急措置

吸入した場合: 通常の使用においては、その該当がない。

皮膚に付着した場合: 特別な措置は要しないが、軟らかい布等で拭きとるか水で洗い流す。

眼に入った場合: 直ちに多量の水で洗眼した後、異常があれば医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合: 速やかに口をすすぎ、異常があれば医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤: 水、粉末、炭酸ガス、泡等通常の消火剤
使ってはならない消火剤: 該当なし。

消火を行う者の保護: 通常の保護具着用

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 保護具を着用して作業を行う。

保護具及び緊急時措置：状況に応じた保護具、例えば防塵マスク、保護メガネ、保護衣（長袖・長ズボン）、保護手袋等を使用する。

環境に対する注意事項：特に留意する必要はない。

封じ込め及び浄化の方法・機材：多量に漏出させた場合は、容器に回収して適切に処理する。漏出した跡は大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないよう適切な保護具を着用する。

局所排気・全体換気：取扱いは換気の良い場所で行う。

注意事項：みだりに粉塵が発生しないよう取扱う。

安全取扱い注意事項：特に留意する必要はない。

保管

適切な保管条件：直射日光をさけ、食品と区別し、小児の手の届かないなるべく低温で乾燥した場所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料：特に留意する必要はない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：取扱い場所の近くに洗眼、手洗い洗面設備を設ける。

保護具：状況に応じた保護具、例えば防塵マスク、保護メガネ、保護衣（長袖・長ズボン）、保護手袋等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状：顆粒状粉末で水に投入すると容易に溶け透明な溶液となる。

色：白色

臭い：無臭

pH：3.4～5.0

比容積：1.6～2.0 mL/g

融点・凝固点：知見なし

沸点、初留点及び沸騰範囲：知見なし

引火点：知見なし

発火点：知見なし

燃焼又は爆発範囲：知見なし

蒸気圧：知見なし

蒸気密度：知見なし

溶解性：知見なし

オクタノール/水分配係数：知見なし

分解温度：知見なし

10. 安定性及び反応性

熱安定性：熱・光に対して安定。

反応性：特になし

避けるべき条件：通常の使用方法ではその該当がない。

混触危険物質：特に留意する必要はない。

危険有害な分解生成物：特に留意する必要はない。

1 1. 有害性情報

急性経口毒性：	ラットLD ₅₀ 値 (mg/kg)	♂, ♀ > 5000
	マウスLD ₅₀ 値 (mg/kg)	♂, ♀ > 5000
急性経皮毒性：	ラットLD ₅₀ 値 (mg/kg)	♂, ♀ > 2000
皮膚刺激性：	ウサギ	刺激性なし
眼に対する刺激性：	ウサギ	刺激性あり (洗眼により軽減)
感作性：	モルモット	陰性

1 2. 環境影響情報

本化合物は植物に内生する化合物で環境に与える影響は少ない。

1 3. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。
空容器：空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水は圃場等で使用する。

1 4. 輸送上の注意

容器に異常のないことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

1 5. 適用法令

農薬取締法

1 6. その他の情報

参考文献：製品安全データシート「ジベレリン協和粉末」（協和発酵バイオ株式会社 2009年7月29日改訂版）

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。